

MIX

第2回

ナカノモリ芸術祭

2025

NAKANOMORI ART FESTIVAL 2025
IN KUNISAKI PENINSULA

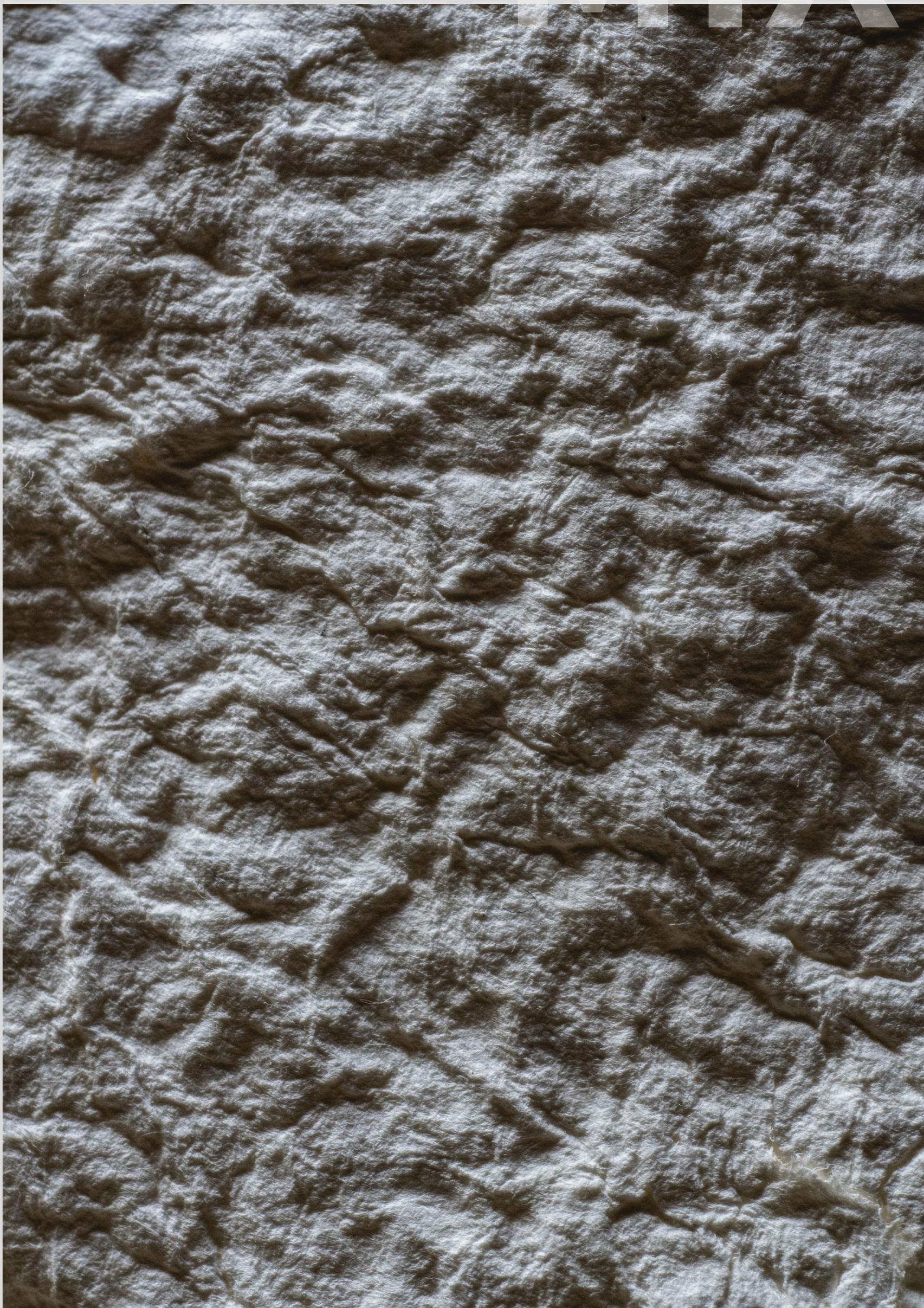


Photo by Tomohide Tani

会期：10月25日 [土] ~ 11月23日 [日]

【会場】 872-1402 大分県国東市国見町中126 (B&G国見海洋センター側面道路を上へ約1.6km)

【鑑賞料】 無料 【時間】 11:00~17:00 (最終入場 16:30) 【休館日】 10/31. 11/1~7. 14

【ご予約/お問い合わせ】 TEL 090-3600-7779 (代表) 【Web】 <https://nakanomori.studio.site>



開催地である国東市国見町「中/なか」。メタルアーティストの秋本順子氏らが育ててきたアトリエと「森」を次世代へ繋ぐ「守り」としての芸術祭であり、参画型のアートプロジェクトが誕生しました。国東半島やナカノモリでのAIR/アーティスト インレジデンスを通じて滞在制作を行い、芸術や文化、この場所を訪れる人々と国東半島との新しい暮らし方を共有していきます。

*観覧料は無料（一部ワークショップ有料）よろしければ活動維持・アーティスト支援の為のドネーション（寄付）を宜しくお願いいたします。



Nakanomori Artist In Residence

THEME / MIX

今年度のテーマは「MIX / ミックス」

昼間に瞬く星空のように咲き、樹皮は紙の原料となる植物「ミツマタ」。国見町西方寺地区の人々は、四季のうつろいと共に育ててきた風景は段々と自然に還りつつある。この地に関わりのある作家と地域、自然とのつながりが混ざり合い、紙を漉くように作品として現れてくる。これから先の未来を垣間見るように。

10月25日（土）～30日（木）

山口 正文 / Masafumi Yamaguchi - 絵画 -

国見町西方寺在住。東京芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。生活の中で見えてくる普遍的なもの、美しさを感じものをテーマに制作を続けている。主な活動として、地元作家によるグループ展「磁力と地力」や国見の画家による三人展「東風を待つ」などがある。

ギャラリートーク 10/25（土）開演11:30～（約45分程度） 料金/無料

10月25日（土）ワークショップ

ミツマタ保存会 - ミツマタを使った紙漉きポストカードづくり -

一般の方向けに紙漉きWSを初開催します。地産の素材を活かす貴重な体験をこの機会に是非。料金/2,000円（体験料・ドリンク付き） 集合13:30（作業2時間程度） / 募集人数 15名（要予約）

11月02日（日）トークイベント

吉田 拓也 / Takuya Yoshida - 国東半島芸術祭を振り返る -

2012年度の国東半島アートプロジェクトより、作家・地域問わず様々な交友関係を国東半島へ繋いできた貴重な存在。国東半島芸術祭を振り返りながら、これから先の地方の未来について語り合いました。元国東半島国見ユースホテル ペアレンツ

料金/無料 開演18:00～ / 募集人数 15名（要予約）

11月08日（土）～13日（木）

谷口 聡子 / Satoko Taniguchi - hand knitting -

武蔵野美術大学卒。桑田ニット研究所で学ぶ。棒針編みで造形物を制作。2014年BEAMSへ作品提供、2017年個展「かすかなもの」～2024年個展「隣り合う、溶け込む」es quart「森の展示室」他多数

無津呂 昌子 / Masako Mutsuro - イラストレーション/紙アートワーク -

絵とデザイン
山と海が近く鬼が仏にもなる奇岩だらけの国東半島。その根元にある豊後高田に暮らしながら感じたことを紙を通して表現していけたらと思っています。

牧野 史和 / Fumikazu Makino - 染め/修繕 -

立教大学現代心理学部映像身体学科卒
折口信夫が提唱する"まれびと"という概念を探求しつつ、土着の身体観から踊りやアートワーク制作、詩学などを実践している。2024、個展『土の結び目』

11月15日（土）ライブイベント

Yanai - sound art -

水や鉛筆の音、会場の物音を主体とし、ギターテーブルを駆使した即興的なライブパフォーマンスを行う。EAR&ECHO RECORDSを設立し、実験ながらも優しく楽しく神秘的な楽曲を数多くリリース。中川政七商店、NADiff a/p/a/r/tの店内BGMを手がける等。

料金/無料 昼の部 開演 15:00～ / 夜の部 開演 19:00～ / 募集人数 各20名（要予約）

11月16日（日）ワークショップ

Yukiko Minota - 錫を使ったペーパーウェイトづくり -

錫が溶け始める形体は流動的で森の樹木に降りそそぐ雨の雫のようです。是非体験してみてください。料金/5,000円（体験料・材料代・昼食込み）時間11:00～16:00 / 募集人数 6名（要予約）

11月15日（土）～23日（日）

秋本 順子 / Junko Akimoto - 金工 -

国見町中在住。武蔵野美術大学産業デザイン科卒
「国見町に芸術村を作る」という稲垣二郎氏に共感し、荒廃した山を開墾し始めて三十年余り。うつろいゆく四季の中で、METALと向き合いながら制作を行なっている。